

第2学年 生活科授業実践

1 単元名 もっともっとまちたんけん

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力・人間性等
・地域と関わる活動を通して、地域での生活はさまざまな人や場所と関わっていることや、他者とかわることの良さに気づくとともに、生活上必要な習慣や技能を身につけることができる。	・地域と関わる活動を通して、これまでの活動の経験を生かしながら、地域の人や場所の存在についてより深く考えたり、他者に伝えたいことを考えたりすることができる。	・地域と関わる活動を通して、地域により親しみをもって生活したり、他者と進んで交流したりしようとしている。

3 教材のとらえ

6月の「まちをたんけん大はっけん」の単元では、全員で桜井の町を探検した。赤・青コース、緑コース、黄色コースに分けて歩き、素敵などころを見つけてカードに書き、全体で交流した。初めて訪れた場所もありあり、「桜井の町にはいいところがたくさんあるな。」「どんなところかもう一度行ってみたいな。」という思いをもったまま一旦学習を終えている。

そこで、本単元「もっともっとまちたんけん」では、前回行けなかった場所を訪ねて、町の人にインタビューをする活動を計画した。調べたことを発表するという学習は今回が初めてとなる。町のことをもっと知りたい、調べたいという思いから、インタビューの仕方や、ポスターセッションの仕方などについて丁寧に扱い、次年度以降の社会科や総合の学習につなげていきたい。



4 本時の指導

本時の目標 「これまでの学習を振り返り、自分たちの生活が地域と深く関わっていることに気づくとともに、これからも地域と関わろうとする気持ちをもつことができる。」

本時の学習

学 習 活 動	教 師 の 支 援
1. 本時のめあてを確認する。 町たんけんをふりかえろう。	
2. 前時のポスターセッションで、わかったことを発表する。 ・「K 店」の人は、自分たちのお小遣いのことを考えてくれているのがわかった。 ・「洋菓子 K」は、クリスマスがいちばん忙しいことがわかった。 ・「焼肉 K」の人は、おいしく食べてくれるとうれしいことがわかった。 ・「交番」は、30 年前にできていたのがすごかった。 ・「S 保育園」には、先生が 43 人もいるのがびっくりした。 ・「ベーカリー K」の人は、朝早いのが大変なのがわかった。	・お店の様子だけでなく、働いている人の様子や気持ちにも目をむけるようにさせる。
3. 町探検をしてみての感想を話し合う。 ・お店のことがよくわかってよかった。 ・ポスターセッションで、うまく発表できて楽しかった。 ・お店の人たちは、町のみんなのために頑張っているんだと思った。 ・お店に行ってみたいと思った。 ・探検したところにお礼を言いたい。 ・家の人にも発表したい。	・ワークシートを用意し、はじめに自分の感想を書かせてから、発表させる。 ・学習を通して、自分たちの成長にも気づかせたい。 ・地域の人たちへの感謝の気持ちを引き出せるようにしたい。 【学びに向かう力・人間性】 地域で生活したり働いたりしている人とかかわる活動について、自ら進んで関心を持ち、これからも地域とかかわっていこうとしている。
4 次時につなげる。 ・お礼の手紙を書いて渡したい。 ・お礼の手紙を書こう。	